

消防だより

今年の出動など(累計)

火災	：	8件
救急	：	915件
救助	：	4件

(令和元年(2019年)8月31日現在)

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

住宅防火診断を実施します

近年、住宅火災による死者のうち高齢者の占める割合が7割にもなっています。

町消防本部では11月から令和2年(2020年)3月までの期間中、住宅火災を防止するため、消防署員が80歳以上のひとり暮らし宅を訪問し、防火や防災に関する指導、住宅用火災警報器の設置・維持管理の指導を行っています。

この期間は寒い時季であるため、ストーブなどの暖房器具からの火災が多く、就寝中に発生した火災からの逃げ遅れによる死者数が多くなっています。住宅用火災警報器を設置している住宅は、設置していない住宅に比べて火災による死者数が4割も少なくなっています。大切な命を守るため、住宅用火災警報器を必ず設置しましょう。

寒い時季に多発！ 高齢者の入浴中の事故に注意

気温が低くなる季節を迎えるにあたり、多くなってくるのが入浴中の事故です。

間違った入浴は体に大きな負担を与え、意識障害を起こして溺水するなど、重大な事故につながる危険性があります。家庭の浴槽での溺死者数の約9割は65歳以上の高齢者であることから、高齢者は特に注意が必要です。

入浴時の急激な血圧の変化や発汗による脱水症状の進行は、心筋梗塞や脳梗塞、脳出血などのリスクを高めてしまいます。

入浴時の対策・注意点

- 入浴前に脱衣所や浴室を暖め、湯温は41度以下、湯に漬かる時間は10分までを目安にする。

- 浴槽から急に立ち上がらない。
- 食後すぐの入浴や、アルコールを摂取した状態での入浴は控える。
- 入浴前には家族にひと声かける。

浴槽でぐったりした人を 発見した場合の対処法

①入浴者を浴槽から出す。浴槽から出せないようであれば、浴槽の栓を抜き、顔が湯に漬からないようにする。

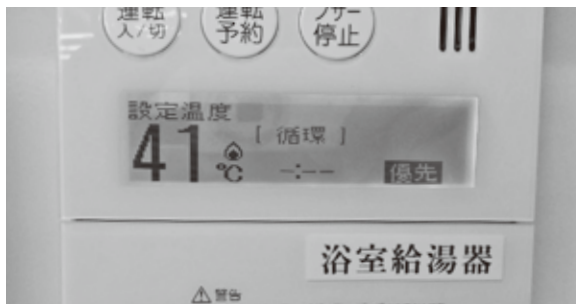
②直ちに救急車を要請し、必要であれば心肺蘇生を行います。

※いざという時のために救急救命講習を受講するなど、応急手当てを学びましょう。

宝くじの助成金で 消防訓練用消火器を整備

地域ぐるみの火災予防の普及と防火防災思想の向上を目的とする「和田川町防火委員会」(婦人防火クラブなど)は、宝くじ助成金(コミュニティ助成事業)を活用し、消防訓練用消火器30本を整備しました。できるだけ多くの皆さまに消火器の取り扱い方法を身に付けていただけるよう、消火訓練などで活用します。

コミュニティ助成事業とは、一般社団法人自治総合センターが宝くじの収益を財源として行う社会貢献広報事業です。



浴室給湯器などで設定する湯温は41度以下に！

